太田岳君

吉家岳人君

カガミ杯 中野が初優勝

中信勢 攻撃面に課題残す

第27回市民タイムス少年サッカー新人戦・カガミカップの大会2日目は、昨年と同様、冷たい雨の降る中での試合となった。中信勢はベスト8に4チームが残ったが、いずれも準決勝までに敗退し、セダックの3位が最高位だった。

最優秀選手賞には中野の吉家岳人君（長丘小5年）、優秀選手賞にはトップストーンの太田岳君（宮田小5年）が選ばれた。ベスト8となった鎌田サッカースポーツ少年団（松本市）、旭町サッカースポーツ少年団（同）、豊科南SC（安曇野市）、吉田少年サッカークラブ（長野市）に、敢闘賞が贈られた。

優勝した中野は決勝までの5試合を13得点、2失点と抜群の安定感で勝ち上がった。決勝はトップストーンの攻撃陣にゴール前まで迫られながらも、最後の一線を崩されずに、チャンスを確実にものにして初の栄冠を手にした。

中信勢は昨年より1チーム少ない4チームが勝ち残ったが、攻撃力のあるチームの前に涙を飲んだ。3位となったセダックは2、3回戦を0―0からPK戦で勝ち、鎌田との準決勝は2―0で制したが、中野との準決勝は0点に抑えられた。上位進出を狙うためには攻撃面の強化が課題となることが、新人戦で浮き彫りになった。

（小口浩一）

初優勝した中野サッカースポーツ少年団

2位のトップストーンＪｒ

3位のセダックＪｒ

▽準々決勝
セダック2―0鎌田
中野2―1豊科南
トップス4―0吉田
トーン
岡谷東部3―0旭町

▽準決勝
中野1―0セダック
トップス3―1岡谷東部
トーン

▽決勝
中野1―0トップス
トーン

▽3位決定戦
セダック1―0岡谷東部